

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		国民健康保険運営協議会事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000391
						単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	030201
総合計画の施策名		0107 社会保障制度の健全運営							国保年金課
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
施策名		07 社会保障制度の健全運営						グループ	国保年金G
手段名		01 ①医療保険制度の充実						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	国民健康保険特別会計		
	02	01	03	01	01	00	運営協議会事業		
							単年度繰返し (昭和33年度~)		
法令根拠	国民健康保険法第11条 桜川市国民健康保険条例 桜川市国民健康保険規則				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
国民健康保険事業の一部負担金の負担割合に関する事項、保険税の賦課方法に関する事項、保険給付の種類及び内容に関する事項等、運営上重要な事項を審議するものである。 委員の構成は被保険者代表3名、保険医・保険薬剤師代表委員3名、公益代表委員3名。 委員の任期は3年。	市国民健康保険事業に関しての、予算決算、法律に基づく条例制定、保険税率等についての資料作成及び審議時の説明を運営協議会として年2回開催する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
年2回開催の委員会のため市国民健康保険事業に関しての、予算決算、法律に基づく条例制定、保険税率等についての資料作成及び審議時の説明を行う。	運営協議会開催回数	回	3.00	2.00	3.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜川市国民健康保険運営協議会委員	運営協議会委員数	人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜川市国民健康保険事業を適正に運営する	国民健康保険税収入額	千円	909,169.00	933,307.00	933,307.00	933,307.00	933,307.00
	保険給付費 (審査支払手数料含む)	千円	3,230,127.00	3,203,359.00	3,299,632.00	3,100,000.00	3,000,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	113	64	217	
		事業費計 (A)	千円	113	64	217	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	48		01 報酬	105	
08 旅費	2		08 旅費	14	
10 需用費	3		10 需用費	7	
18 負担金補助及び交付金	11		11 役務費	18	
			18 負担金補助及び交付金	73	
合計			合計		
64			217		

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	市国民健康保険事業に関しての、予算決算、法律に基づく条例制定、保険税率等についての資料作成及び審議時の説明を運営協議会として年2回開催する。	市国民健康保険事業に関しての、予算決算、法律に基づく条例制定、保険税率等についての資料作成及び審議時の説明を運営協議会として年2回開催する。	市国民健康保険事業に関しての、予算決算、法律に基づく条例制定、保険税率等についての資料作成及び審議時の説明を運営協議会として年2回開催する。

事務事業名	国民健康保険運営協議会事業	事務事業No.	10701000391	所属課	国保年金課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
国民健康保険制度制定時から法により設置が定められ、昭和33年から市町村保険者国民健康保険運営協議会が設立され現在に至っている。平成20年度JavaScriptから、後期高齢者制度が開始されことから被用者保険代表委員が2名の減で9名となり、また年齢上限が74歳までとなった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
コロナ禍において、書面審議になり活発な意見交換ができないとの意見が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	法令により保険者に設置を義務付けられていることから結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国民健康保険事業の諮問機関であるため妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	法令により保険者に設置を義務付けられていることから成果の向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	国民健康保険事業の諮問機関であるため成果への影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	他に手段がない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	法令により保険者に設置を義務付けられ、必要最小限の事業費運営及び人件費であることから削減の余地はない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	国民健康保険事業の諮問機関であるため公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和4年度では審議会を2回開催した。前年度国保税率変更を行ったが、大きな問題もなく済んだ。今年度で役員の任期が終了し、次年度から新役員での協議を行う。国民健康保険制度がかなり複雑であることから、被保険者の代表が国保運営上重要な事項を審議する機関とされているが、年2回の開催では審議案件の理解と判断はかなり難しいと思われる。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持			○	×	低下		×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上維持			○	×																	
低下		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>